

小澤節子さんが10月7日、役場を訪問。喜びを分かち合いました



## 楽しみながら森を育てる

### 大井川「白羽山はばたきの森」に集う会が受賞

地球温暖化防止への貢献や山地災害の予防など、森林が持つ多面的な役割に対する認識を深め、社会全体で森林を育てることを目的とした第33回全国育樹祭は10月4日、長崎県長崎市で開かれました。

この式典には、平成21年度ふれあいの森林づくり事業で国土緑化推進機構会長賞を受賞した大井川「白羽山はばたきの森」に集う会の代表小澤節子さん（高郷）が出席。静岡県では唯一の受賞となりました。

大井川「白羽山はばたきの森」に集う会は平成12年度、県と県民が共同で開催した植樹体験会の町民スタッフが母体となり、平成13年に民間森林グループとして独立した会です。多くの人々が交流しながら、森を楽しく育てる活動を100年先まで続けることを目標としています。白羽山周辺の森を借り受け、針葉樹・広葉樹を織り交ぜた樹種の植栽に取り組み、下刈りなどの育林活動を実施。毎年秋に実施する森づくり体験会や春の植栽活動には都市住民も多数参加し、山村と都市との交流にも貢献しています。

この町に起こった  
新鮮な「ネタ」を皆さんの元へ。  
この次に登場するのは  
あなたかも!?



大勢の人が案山子の見学に訪れました

## 田んぼの脇に案山子登場

### 地名地区で恒例の案山子コンテスト

地名区では9月20日から10月末日の間、地元主催の「地名の平案山子コンテスト」を開催しました。地名区の住民が秋の豊作に感謝し、区民のふれ合いと助け合い、そして健康に良いとされる笑いを目的とした催しで、今年で3回目になります。各班や個人から出品された案山子は全部で18体。鳩山総理大臣、オバマ大統領、イチローなど、趣向を凝らした作品が製作され、10月末まで田んぼの脇に並びました。



町長選挙・町議会議員選挙の開票作業のよう

## 皆さんの大切な一票届く

### 町全体の投票率は88.55%でした

町長選挙および町議会議員選挙は10月4日執行され、町内各地の投票所には、多くの町民が足を運びました。各投票所の投票率は次のとおりです。

- 1 (接岨) 92.54%、2 (大間) 88.52%、3 (奥泉・大谷) 88.89%、4 (土本・沢間・桑野山) 87.20%、5 (千頭東・千頭西・寺馬) 88.95%、6 (小長井・上岸・前山・平栗) 88.80%、7 (田代) 91.12%、8 (富士城・小幡) 83.33%、9 (崎平・柳三) 95.42%、10 (坂京) 92.00%、11 (青部) 92.11%、12 (藤川) 90.81%、13 (水川) 85.14%、14 (上長尾・高郷・八中・梅高) 90.58%、15 (下長尾・瀬平) 88.77%、16 (久保尾) 94.34%、17 (久野脇) 87.75%、18 (地名) 85.74%、19 (下泉) 84.98%、20 (吉町河内) 94.34%、21 (田野口) 85.71%、22 (徳山) 84.44%、合計88.55%

## 感謝を込めて現場の美化

### 林土連発足50周年記念の清掃活動

（株）東京林業土木協会安全対策協議会大井川地区が主催するボランティア活動は9月11日、大井川治山センター管内の林道などで、建設会社の社員など17人が参加して実施されました。

林土連発足50周年を記念して企画されたこの事業。全国の各協会が一斉に、日ごろ業務に携わっている治山や林道の工事現場で、ゴミ拾いやガードレールの清掃など、環境美化活動を展開しました。



日ごろの感謝を込めて、いよいよ清掃作業

## 平成時代の「百景」に認定

### 大井川鉄道と周辺の景観が評価され

読売新聞創刊135周年を記念した事業「平成百景」に、大井川鉄道（を含む周辺市町）が選定されました。日本の美を発見・再確認するのが本事業の狙い。新聞社が全国の候補地をピックアップし、読者の投票により百景が決定。県内では、富士山と大井川鉄道の2箇所が選定されました。読売新聞社池永尚嗣静岡支局長が9月14日に役場を訪問。平成百景の認定証を伝達し、祝いの言葉を伝えました。



読売新聞池永尚嗣支局長が来庁し認定証を伝達

大井川治山センターが主催する「治山教室」は10月3日、榛原川周辺の治山工事現場で開かれました。

町内の子どもたちに、治山事業の大切さや森林の働きなどを楽しく学んでもらおうと開かれたこの教室。各小中学校から15人の児童生徒が参加しました。

参加者一向は、昨年度完成した大札薙治山工事箇所での山崩れを復旧する方法を学んだり、現在施工中のゴボウ薙治山工事箇所です工事が進んでいく様子を見学したりしました。

また、現場で活躍するパワーショベルへの搭乗体験や、実際の測量器械を使って距離や高さなどを測る体験は子どもたちに大人気。機械に触れた子たちからは楽しそうな声が上がりました。

大井川治山センター島田所長は「今年初めて実施した治山教室。試行錯誤はありましたが、子どもたちに森を守る『治山事業』の大切さを理解してもらったのではないかと思います。今後も継続して教室を実施し、地域の子たちが森林や治山について考える機会を提供していきたいと考えています」と話していました。

## 治山の役割や必要性学ぶ

### 大井川治山センター主催「治山教室」開催



測量器械をのぞき込み、アドバイスを受けながら距離を測る参加者

Topics

# 川根本町の まちの話題